



俳句

稲井 爽秋 選

よく笑ふ嬰子抱きて聖五月
枇杷食べて決断の種とばしけり
よく降る日絵手紙に描く七変化
万緑のまつただなかに神鎮む
梅雨晴れや花の絶えざる友の墓
海の村久しき虹に合ひにけり
冷酒の氷ゆらして一人飲む
活けられて風の形に水引草

高橋和子
岡田久夫
徳永洋子
青野義明
尾崎康博
三谷福美
菅博武
川原利代

川柳

伊藤 凡々 選

体温より高い気温で目が眩む
バンザイは何と便利な合言葉
子は親を親は子を見てよい家族
さりげない言葉が友を安堵させ
朝夕の犬の散歩で顔つなぎ
客おもう心配が見える無人駅
負けそうな心にいつも亡母の声
人間の知恵につぶれて行く地球

西原おさむ
日和佐与里
桑原このみ
大谷道子
鈴木幸一
秋山繁雄
藤田むつ子
渡部順一

短歌

岡田 弘 選

暮れ方の青田の道をすいすいと自転車漕げば
心澄みゆく 相原サツキ
顔も手も緑に染まる森のなか森林浴で心洗は
る 伊賀和子
幼な字でこの婆も書きし七夕の短冊揺るるセ
ンターの庭 鈴木千恵子
タイムリングよく逝くことを願ひつつ老いの
ひとひ 多田 鈴
一日を大切に生く 梅雨あけの酷暑と言ふも穂やかに百日紅咲き
さ揺らぐさ庭 日和佐彌生
鬼子母神の朝顔市の鉢求め今年も送る先ある
喜び 元山 莊一郎
ぎこちなく鳴く初蟬の声きこゆ台風去りて薄
陽さす今日 渡辺アヤ子
早朝のハウスに行きてこほろぎの初鳴き聞き
し水無月終る 渡部敬子

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
市庁舎本館 総務課 広報情報係
TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.29 ケイレブ・デマレーの自己紹介

米国のミネソタ州で生まれたケイレブ・デマレーと申します。私が育った町は、ほぼ西条市と同じぐらいの人口です。しかし、愛媛県に到着し、全く山にも海にも接する機会のない平らなミネソタ州に比べて、西条市は自然に溢れた素敵なおとろだと深く感じました。

愛媛県のことを初めて知ったきっかけは、ノーベル文学賞を受賞した大江健三郎氏の「個人的な体験」という作品と出会ったことでした。愛媛県生まれの大江氏がこの小説で、以前読んでいた文学作品の言い回しや間接的表現の仕方とは違った「直接力」を主張していたことが、深く私の心に刻まれました。どんな状況におかれても、自分にも他人にも真実に生きるべきだと考えさせられました。

大江健三郎の文学と出会ってからというもの、ますます日本のことを知りたいと思いました。そして、ミネソタ州の大学を出て、千葉県神田外語大学に1年間、交換留学生として来日しました。留学しているとき、大江氏の新宿での講演を聞くことができた上に、一瞬ご本人にお会いできたことは夢が叶ったのだと思います。そして1年間、日本語の勉強に情熱を燃やし、米国へ帰ってから日本語能力試験1級を1回目で合格したことも、現在の仕事に至る大きなきっかけでした。

西条市の国際交流員として、私の同僚の方々と交流しながら、市民の皆さんとも楽しくかわりたいたいと思っています。将来は大学院で日本文学を専攻しようと思う一方、みなさんに自分が今まで異文化研究と文学を通じてどんなことを学んできたか伝えたいと思います。そして、私たちが生きる国際的な世界の理解を深めるために役立てたら、と思っています。よろしくお願いたします。



▲国際交流員
ケイレブ・デマレーさん